

中 運 交 企 第 128 号
令 和 8 年 3 月 27 日

東海市地域公共交通会議
会長 稲吉 豊治 殿

中 部 運 輸 局 長
(公 印 省 略)

令和6・7年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価について(通知)

日頃より国土交通行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般報告された標記事業にかかる一次評価について、これを基に二次評価を行ったため、別紙のとおり通知します。

なお、二次評価結果は協議会等において共有するとともに、次年度以降の計画等に反映いただくようお願いいたします。

【問合せ先】
中部運輸局交通政策部 交通企画課
TEL: 052-952-8006

自治体・協議会名	東海市地域公共交通会議
評価対象事業	地域内フィーダー系統

二次評価結果

評価できる取組

- ・令和6年10月の循環バス再編について、継続的に利用状況の把握、分析を実施しており、ダイヤ等の見直しについて検討を実施したことを確認しました。
- ・バス停の待合環境等の整備や公共交通のわかりやすい情報提供が継続的に実施され、利便性向上につながったことを確認しました。

期待する取組

- ・加木屋中ノ池駅南口駅前広場のバス停設置及びこれに伴う路線の見直しについては、周囲の交通環境、鉄道利用者の動向などを注視し、また、運行事業者と十分に連携し、利便性向上に努められることを期待します。
- ・AIオンデマンド交通の実証実験が循環バスへ与える効果、影響を分析し、ニーズの把握、さらには効率的な運行が実施されることを期待します。
- ・引き続き循環バスの利用状況や利用者の声を把握し、見直しにあつては、PDCAを継続的に実施し、より利便性の高い公共交通網の構築に繋がることを期待します。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年12月23日

協議会名: 東海市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)	
【補助対象となる事業者 名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備 内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業に おいて、車両減価償却費等及び公有民営方式車 両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている 場合、離島航路に係る確保維持事業において離 島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。) を受けている場合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間 において、前回の事業評価 結果をどのように生活交通 確保維持改善計画に反映さ せた上で事業を実施したか を記載】	A・B・C 評価	【計画に基づく事業が適切に実 施されたかを記載。計画どおり 実施されなかった場合には、理 由等記載】	A・B・C 評価	
【補助対象となる事業者 名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備 内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業に おいて、車両減価償却費等及び公有民営方式車 両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている 場合、離島航路に係る確保維持事業において離 島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。) を受けている場合は、その旨記載】	【事業評価の評価対象期間 において、前回の事業評価 結果をどのように生活交通 確保維持改善計画に反映さ せた上で事業を実施したか を記載】	A・B・C 評価	【計画に基づく事業が適切に実 施されたかを記載。計画どおり 実施されなかった場合には、理 由等記載】	A・B・C 評価	
東海市地域公共交通会 議	・東海市循環バス名和線系統① 名和駅前～太田川駅前～名和駅前 ・東海市循環バス名和線系統② 名和駅前～太田川駅前～名和駅前 ・東海市循環バス富木島線系統⑤ 聚楽園駅前～西知多総合病院～尾 張横須賀駅前 ・東海市循環バス富木島線系統⑥ 尾張横須賀駅前～西知多総合病院 ～聚楽園駅前 ・東海市循環バス加木屋線系統⑦ 尾張横須賀駅前～太田川駅前～尾 張横須賀駅前 ・東海市循環バス加木屋線系統⑧ 尾張横須賀駅前～太田川駅前～尾 張横須賀駅前 ・東海市循環バス横須賀線系統⑨ 太田川駅前～尾張横須賀駅前～太 田川駅前 ・東海市循環バス横須賀線系統⑩ 太田川駅前～尾張横須賀駅前～太 田川駅前 ・東海市循環バス横須賀線系統⑪ 太田川駅前～アクアリンプラザ～太 田川駅前 (富木島線系統⑤、⑥及び横須賀線系 統⑨、⑩、⑪については車両減価償却 費等国庫補助金を活用)	・近隣市との協働、他部署と の連携した施策の実施を引 き続き行うことにより、利用 促進を継続した。 ・令和6年10月にダイヤ・ ルートを再編し、市内のどこ からでも本市の主要な鉄道 駅である太田川駅や尾張横 須賀駅へのアクセスがしや すくなった。 ・ダイヤ・ルート再編にあわ せてEV車両を2台追加し、 利用者の利便性向上及び環 境負荷の低減を図った。 ・ダイヤ・ルート再編後の利 用状況等の把握を継続的に 実施している。 ・加木屋中ノ池駅南口の整 備に合わせたバス停の新設 について、富木島線及び加 木屋線のダイヤ・ルートの改 正を検討している。 ・高齢者に対するスマホ教室 におけるバスロケーションシ ステムに関する周知や、小 学校でのバスの乗り方教室 の規模を拡充し、継続的に 実施している。	A	計画通り事業を実施した。	B	循環バスの利用者数(会計年度) ※補助対象外路線を含めた全 路線の合計人数 目標:324,000人 実績:292,201人 ・新型コロナウイルス感染症の 影響により利用者数が急激に減 少したことにより、コロナ禍以前 に設定した目標を達成できな かった。令和5年5月に新型コロ ナウイルス感染症が2類から5 類に移行したことにより利用者 数は回復傾向にあったが、令和 6年10月のダイヤ・ルート再編 以降、利用者が減少した。 バスの乗り方教室や出前講座の 参加人数(会計年度) 目標:333人 実績:390人 ・バスロケーションシステムの使 い方講座回数を増加(48回→60 回)したことにより参加者人数が 増加している。 ・バスの乗り方教室を継続して実 施している。

※令和7年度第3回会議にて承認を受け中部運輸局に提出したもの(参考資料)

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和7年12月23日

協議会名：	東海市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	東海市は、名古屋駅と中部国際空港を連絡する名鉄常滑線と、太田川駅から知多半島の南端を連絡する名鉄河和線による南北の公共交通基幹軸と、隣接する大府市のJR共和駅・大府駅と太田川駅を連絡する独自路線バス(知多バス上野台線・横須賀線)による東西の公共交通基幹軸により形成されている。これらの公共交通基幹軸を補完し、市内の公共施設及び住宅地域を結ぶ地域内フィーダー交通として循環バスによる市内の生活交通ネットワークが形成されている。 令和6年3月16日には加木屋中ノ池駅(名古屋鉄道名鉄河和線・高横須賀駅～南加木屋駅間)の供用が開始され、令和7年3月末には、都市計画道路養父森岡線(幹線道路)が都市計画道路名古屋半田線まで開通したことから、今後市内交通の流れが大きく変わることが予想される。 また、本市の中心的な交通の結節点である太田川駅周辺には、東海市芸術劇場を始めとした文化施設・大学・商業施設等が整備されたことにより、来訪者が増加しており、今後は、太田川駅西土地区画整理事業による新たな市街地の形成や令和9年以降のリニア中央新幹線の開通により、新たな人流が生まれることで、より一層の「にぎわい」創出が予想される。 地域内フィーダーである東海市循環バスは、令和4年度に実施した市民アンケートでは60%の市民からバス交通は必要であるとの回答が得られている。循環バスの利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により急激に減少していたものの、令和4年度以降は徐々に回復傾向となっており、令和5年10月から令和6年9月中では、前年同時期と比較して約7,000人増加した。これは、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行したことに伴う、通勤通学や通院、買い物等の日常生活での公共交通の利用者の回復や継続して利用促進の取組みを行ったことが要因と考えられる。しかしながら、令和6年10月に実施したダイヤ・ルート再編後は、改正後のダイヤに利用者が慣れていないこと等により利用者が減少しており、徐々に回復傾向ではあるものの、継続して利用状況や利用ニーズを把握し、ダイヤ・ルート再編の影響を評価していく必要がある。 継続して利用者・未利用者の調査・分析を進めつつ、令和8年度中に予定している加木屋中ノ池駅南口駅前広場の供用開始といった都市基盤整備に合わせた一部路線のダイヤ・ルートの改正について検討する。 また、主要な交通結節点における利用や乗り継ぎ時の待合環境の向上を図るため、バス停留所に上屋やベンチ等の整備を進める。